

【プレスリリース】

株式会社マーブル、AI 実装を牽引する 700 名の 「コンテキストエンジニア」の育成を完了 ～新設の AX 推進室主導で全社規模の業務変革を加速～

株式会社マーブル（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田村 浩一、以下「マーブル」）は、全社員約 8,700 名を対象とした AI 活用推進施策の一環として、社内における AI 活用推進の中核を担う「**コンテキストエンジニア**」700 名の育成教育を完了しました。今後は、全社員を「AI 実装人材」とする方針のもと、生成 AI を武器とした業務変革を加速してまいります。本取り組みは、2026 年 4 月に発足した AI・DX による業務変革を担う専門組織「AX 推進室」が主導しており、育成した 700 名のコンテキストエンジニアは全社への AI 実装を加速する中核人材として、各システム部門において AI 活用を推進し、技術者の育成や AI 駆動型開発の伴走支援などを担います。また、今後は 2026 年 8 月末までに、AI 時代に対応するエンジニア 3,000 名の育成を計画しています。



■コンテキストエンジニア（社内 AI エバンジェリスト）の役割

マーブルにおけるコンテキストエンジニア（社内 AI エバンジェリスト）は、社内の各部署において、事業への AI 活用推進役と位置付けられています。第一に、社内外の業務課題や技術課題を起点に、生成 AI を活用した案件の獲得と AI 駆動型開発を主導します。第二に、勉強会や事例共有を通じて各部署における AI リテラシーを底上げし、AI 活用を日常業務に定着させる文化醸成や人材育成を担います。第三に、AX 推進室や他部署のコンテキストエンジニアと連携し、全社規模での知見の蓄積とノウハウの横展開を推進します。

■コンテキストエンジニア育成の背景

生成 AI の急速な普及により、現場での実装を推進できる人材の不足が経営課題として顕在化しています。経済産業省「DX レポート」や IPA「DX 白書」でも AI・デジタル人材の需給ギャップ拡大が指摘されており、内製での人材育成が急務となっています。マーブルでは既に、社内教育プログラムとそれに伴う認定制度（レベル 1～5 の 5 段階）を整備しており、生成 AI の基礎知識を扱うレベル 1、プロンプトエンジニアリングを扱うレベル 2 は全社員が認定取得済みです。次段階として、現場の開発業務における実践的な課題解決を担うレベル 3 以上の人材を組織的に輩出することが業務変革推進の鍵であると考え、今回のコンテキストエンジニア 700 名の育成指針を策定し、完了しました。

Lv.	認定		概要	価値	認定状況
Lv.5	上級認定	応用スキル	➤ エージェント・ストラテジ	✓ 複数のAIサービスやAIEージェントを理解し、戦略に落とし込むことが可能	—
Lv.4	中級認定	実践スキル	➤ マルチエージェントエンジニアリング	✓ 複数のAIEージェントを構築・チューニング可能	
Lv.3			➤ コンテキストエンジニアリング	✓ AIEージェントを構築・チューニング可能	一部社員認定済 (約700名)
Lv.2	初級認定	基礎知識	➤ プロンプトエンジニアリング	✓ プロンプトエンジニアリングによる開発が可能	全社員認定済 (約8,700名)
Lv.1			➤ セキュリティ ➤ リテラシー	✓ セキュリティ事故を起こす事なく、安全にAIサービスを活用可能	
—	新入社員研修		➤ Lv.1～2研修	✓ 全員がLv.2までの認定試験を合格する事で一定のレベル・リテラシーを担保	全新入社員認定済 (約700名)

■AX 推進室について

マーブルは 2026 年 4 月、AI・DX による業務変革を担う専門組織「AX 推進室」を発足しました。ミッションは生成 AI を武器とした業務変革（DX）の実現で、「AI・DX 統合戦略の企画運営」「業務効率化の提案」「環境構築・教育推進、経営データ基盤の構築運用」「営業・提案活動との連携」の 4 領域を担います。現在、全社 AI 教育、セキュアな生成 AI 環境の構築、伴走を含めた AI エージェント活用を一体的に推進し、データ保護・学習利用なしの専用環境と厳格なアクセス制御を備えた生成 AI 環境の構築を行うなど、全社的な AI 活用へと繋げています。また、今後はシステム開発に従事する社員のみならず、コーポレート部門を含めた全社員を AI ネイティブとする施策も推進予定です。

マーブルは、コンテキストエンジニアという個々の力と AX 推進室という組織の力を両輪に、全社員の AI 活用を推進し、お客様や社会に向けた新たな価値創出を目指してまいります。

株式会社マーブルについて

マーブルは 1971 年の創業以来、「情報社会の明日を創造・建設」することを企業理念に掲げてシステムインテグレーションサービス、システムコンサルティングサービス、クラウドサービスの開発、IT インフラの設計・構築・保守管理、各種ソフトウェアパッケージの開発・販売、各種ハードウェアの企画・設計・開発、電気通信工事及び電気工事を展開してまいりました。2024 年にはグループ会社を統合し、全国 54 拠点、約 8,700 名の社員と共に新たな価値を生み出し続けています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マーブル PR 事務局（共同ピーアール担当：栗木、大木、立花）

Tel：03-6260-4863 Email：marble-pr@kyodo-pr.co.jp